レザーリーフファンの高温対策実証

近年、夏場の高温により、様々な品目で品質や収量の低下が問題となっており、レザーリーフファンも高温障害が発生しています。
高温対策に向けた遮熱資材の実証を行いましたので、今後の参考にしてください。

■ レザーリーフファンの高温障害




図1　葉の形（左：正常　右：高温障害（ねじれ））

■ 遮熱資材とは

日射などの熱を反射することで、
ハウス内に熱が伝わるのを防ぎ、
植物の生育に有効な可視光線を通す資材

※メーカーによって、様々な資材があります

農林水産省ホームページで「高温対策」で検索すると
様々な対策を知ることができます！

■ 実証（遮熱被覆資材を使ったレザーリーフファンの高温障害対策の検討）



【耕種概要】
◇設置場所：中種子町
◇使用した遮熱資材：涼感ホワイト30
◇遮熱資材の被覆開始日：令和７年８月５日

表１　ハウス被覆資材がレザーリーフファンのねじれ発生に及ぼす影響（令和７年８月２６日調査）

区	区の構成				ハウス内照度（lux）注1	ハウス内温度（℃）注1	葉温（℃）	若葉まがり発生割合（%）		
	内張遮光	防風ネット	ポリフィルム	涼感ホワイト				正常	ややまがり 注2	まがり
慣行区	○	○	―	―	18,742	33.3	33.5	76	24	―
試験区１	○	○	―	○	10,342	31.7	31.8	96	4	―
試験区２	○	○	○	○	7,164	―	34.9	45	48	7

注1：ハウス内照度・温度は10時時点　　注２：「ややまがり」は出荷可能な程度

【結果】
- 涼感ホワイト３０を被覆することにより、ハウス内の温度および葉温が約２℃低下する効果が確認された。（表１）
- 試験区２では、葉柄が柔らかくなる傾向がみられた（達観評価）。
- 試験区１と試験区２の比較から、ハウス内の温度を下げるためには、天井、サイド、妻面全てのポリフィルムを除去することが必須。

【残された課題】
- 遮熱資材の被覆開始時期（梅雨明け後）の検討。⇒　R８年度再実証
- 費用対効果の検証

R7年12月１日作成